

## 北京第一歴史檔案館所蔵コーカンド関係文書9種

濱田正美

ここに紹介する9通のチャガタイ語文書は、堀直氏が北京の第一歴史檔案館所蔵の軍機処録副を調査された際に発見されたものである。筆者は既に10年ほど以前にその複写<sup>1)</sup>を頂戴していたが、概説的な論文において部分的に言及した〔濱田1998: 116-7〕外は全部を公刊することなく荏苒日を過ごして来た。改めて堀氏のご厚意に謝意を表するとともに余りにも甚だしい公表の遅延を深くお詫びする次第である。

コーカンド・清朝関係史については、古くは佐口透, J. Fletcher 両氏の先駆的業績〔佐口1963; Fletcher 1978 a; 1978 b〕があり、中頃には潘志平氏のモノグラフ〔潘1991〕、近くはL. J. Newby氏の優れた研究〔Newby 2005〕が公刊されて、既にほぼその全容が明らかにされているとあって良い。就中Newby氏の研究は第一歴史檔案館の文書を博搜して成ったもので、9通の文書内の7通に含まれる情報は概ねこの研究書に取り込まれている。有り体に言えば、これらの文書が歴史的な経緯において有する意義を筆者が理解し得たのは同書のお陰であった。従って、今になってこれらの文書を紹介する意味はないようにも思われるのであるが、Newby氏はこれらの文書の漢訳に専ら依拠していること、原文書に記載された事柄は概ね正しく漢語に移されているとしても、その事柄の伝達を担う文章の本質的な性質、例えばコーカンド・ハーンの勅書としての体裁などは、意図的にせよ翻訳の技術上からせよ漢訳では無視されていること、更により重大な問題として原文書の肝要の部分が訳し落とされている可能性があること<sup>2)</sup>などに鑑みるならば、改めてチャガタイ語原文書を検討する意義は皆無とは言えぬと考える。史料的な価値とは別に、これらの文書には19世紀チャガタイ語の資料としての重要性が認められることは言うまでもない。以下では堀氏の覚え書きに記載されたこれらの文書が添付された奏摺の年代に従って紹介するが、おのおの項の冒頭の日付<sup>3)</sup>と上奏者の名は、堀氏の覚え書きに記されたものである。数字は「軍機処

- 1) うち4点は漢訳文書の複写を伴う。但し、そのうちの2点は堀氏の抄写による。文書IXのものとしてされる漢訳文書については、以下で改めて述べる。
- 2) 堀氏の覚え書きによれば、チャガタイ語文書全てに漢訳が存在するとのことであるが筆者自身は北京での調査の機を得ず、ここに列挙した問題点は、堀氏から頂いた漢訳文書とNewby氏による漢訳文書からの英訳もしくは要約に基づく判断である。従って事実は訳し落としてはなく、Newby氏による省略であらある可能性も僅かながら存在することを付言しておく。
- 3) 二つの日付が記されている場合もある。堀氏の覚え書きをそのまま踏襲した。

録副奏摺・民族類」の文書番号を示し、Newby 氏の書に該当する記述がある場合には、そのページ数を付け加える。次いで、漢文の付箋の内容を移録し（但し文書IXには付箋はない）、堀氏から漢訳文書の複製もしくは抄写を頂いているものには「漢訳あり」と記す。原文の転写、翻訳、注釈と解説の順に記載する。アラブ文字の原テキストは印刷の都合上、最後に一括して提示した。転写と原テキスト中の [...] は判読不能の語を示す。訳文の [ ] は訳者が補った語であることを示す。

## I 嘉慶 16 年 8 月 13 日 鉄保等 8051 - 14, Newby 2005 : 58

【捜】 獲原任阿奇木伯克郡王伊斯堪達爾招降薩木薩克原書 原件破損（破損個所を示す挿図あり。）

### 【転写】

- (1) Ḥaḍrat-i Sāmsāq Xwājam sallama 'llāhu ta'ālāga, Čū šabnam az rux-i gul-āb...  
 (2) Kāšgarnīng ḥākim beg jūn wāng Iskandar Begdin da'wāt-i muḥibbāna wa taslimāt-i muštāqāna adāsīdīn mafhūm ol-ki li-llāhi 'l-ḥamdu wa'l-minna bizlār bi-gāyat parwar wa kār-i 'ālam šifat-i salāmat (3) maqrūn bi-xayr-i 'āfiyat durmiz. Ḥaḍratlarīni ham jamī'i ta'li-qātīlari birlā allāh ta'alā salāmat saqlap yaqīn furšat da didārlarī ni'matīga mušarraf bolmaqni našib qilgay, inšā'llāh. (4) Tāniyan ḍihn-i mušaffālarīga ma'rūḍ ol-kim ḥaḍratlarīni ibār-gān xāšš xiḍmat-kārlari Muḥammad Niyāz Āxūndlar Kāšgarga yetip kelip ḥaḍratlarīni kelišlarini (5) Uluḡ Xānga ma'lūm qīlip xaṭṭ tutup biz alixā āmbān xābā āmbānlar bilān mašlahatlašip bu išning yaruqīda Qōqand bilā kelišlarini mašlahat qilgalī Narbūta Beg qašīga Maḥmūd Beg ibārišimizdā (6) Tūli Baynī bilā qoşup ibārip hamma sōz aḡizni janāblarīga ma'lūm qīlip 'ariḍa-dāšt tutup edük. Sam'-i šariflarīga masmū' bolgandu. Muḥammad Niyāz Āxūndlar mu (7) Uluḡ Xāndīn kelā durḡan yarlıḡni saqlap turdī. Yarlıḡ yetip kelišigā mu on nečā kūn qaldī. Yarlıḡ yetip kelgāndin kin Muḥammad Niyāz Āxūndlarīni 'Alī Yār Beg bilān xiḍmatlarīga ibārā miz. Yenā beglārdin (8) aṭ ulāḡ hamma lāzim-āmadalik nersā ke-rākni jabdup Qōqandga istiqbāllarīga ibārā miz. Wa yenā Muḥammad Niyāz Āxūnd bizgā ayt-qanda Šahr-i sabzdaki Šiddīq Begni mu Xwājam billā alip kelā durlar dedi. Šahr-i sabzgā ham (9) kiši ibārip Šiddīq Begni aldurup kelip ṭayyār bolup tursalar. Muḥammad Niyāz Āxūnd 'Alī Yār Beglār yetip bargāndīn kin ḥaḍratlarī ham dar maḥall aḡaçamlarīni 'aẓimlarīni erišip (10) kelā durḡan hamma xiḍmat-kārlarīni alip čiqip kelsālār. Kāšgar xalqī hamma murīd muxlišlār jamāl-i jahān-ārālarīga mušarraf bolmaqniḡ ārzūsida ṭalablarīni qīlip munṭaẓir turup-durmiz, inšā' llāh. (11) Yenā alixā āmbān xābā āmbānlar bilān mašlahat qilgay miz. Sākizinji jumādī 'l-awwal aynīng on üçidā (12) Uluḡ Xānning toḡulḡan uluḡ mu-bārak kūni bola dur. Uluḡ Xānga tābi' hamma aṭrāfdaki wāng kūng bāyli bāyşa uluḡlar jam'

bola dur. Šol kündä ھاđratlarıńıń pây qadamları Kāšğarğa yetip keldilär degän xaţı (13) Uluđ Xāńğa yetip barsa qırq yılńıń bu yüzi talāda yürgän Sāmsāq Xwāja manga baš tutup kelip dur dep hamma uluđlarğa čarlap anglatıp bu xōš-waqtlıqda ھاđratlarıǵa āsmāndin (14) igiz yerdin qalın iltifātı tāxi mu ziyāda bola dur. Alıxa ambān xābā ambānlar biz Sāmsāq Xwājaliqni (15) Uluđ Xānning mundađ uluđ mubārak küniǵä ülgürüp yetip kelsälär dep sa'y qılǵanimizning uçurı (16) Uluđ Xān xōš-waqt bolǵan sarı xōš-waqt bolup ziyāda iltifātlar qılıp bizning waqtimizda bu obdan işlar tāxi mu obdan bolup Sāmsāq Xwājaliq qanča 'izzat ābrüyluq bolsalar (17) biz ham toladin tola xōš-waqt bola mız. Bizning bu mihr-bānjiliq qılǵan obdan könglümüzni Sāmsāq Xwājaliqǵa xaţı bersāngiz. Anglap xōš-waqt bolup čabdup řayyār bolup tursalar (18) Muħammad Niyāz Āxūnd 'Alı Yār Beglār barıši hamān hayāl bolmay dar maħall atlanıp čiqip kelsälär ziyāda obdanliq bola dur dedi. Muning üçün sam'-i řariflāriǵa ma'lūm qılıp (19) Muħammad Axūn qolidin 'arıđa dāst [qıld]im. (20) Uluđ Xānning üçünji yili [...] toxı 'id-i qurbān aynıń on tört küni. (Seal impression) Kāšğar ĥakim begi ning muhr (?) (+ in Manchu + in Chinese)

#### 【翻訳】

- (1) サムサク・ホージャム —— 賛美さるべき神は彼を守り給え —— に。薔薇水の頬の薔薇色の如く [...]
- (2) カシュガルのハーキム・ベグ、郡王イスカンドル・ベグよりの友愛に満ちたる招請と深切なるご挨拶の言上はかくの如くに知られかし。賛美と加護は神のものであり、我ら一同、[神の] 無辺の扶養に与り、世情は安穩にて、(3) 健勝にて過ごし居ります。至高の神が猊下と御家中の方々をご健勝に保たれ、近い内に [猊下に] 拜謁の栄光を忝なくする幸運を授け給わんことを、もし神が望み給うならば。(4) 陳者、清澄なる [猊下の] 御知力への懇請はかくの如くであります。猊下が差し遣わされた御重臣、ムハンマド・ニヤーズ・アーホンドたちはカシュガルに至り来 [ましたので、] 猊下の御来帰を (5) 大ハーンにご報告し、書状を受け取って、我らは尚書、参贊大臣と商議して、この件につきましてコーカンドとも御来帰を商議しようとして、ナルブータ・ベグの許へマフムード・ベグを遣わしました際に (6) トゥーリー・バイをも付けて遣わし、すべての要件を猊下にお知らせして、我々は書状を差し上げました。[既に] 聖なるお耳に達している [通りで] あります。ムハンマド・ニヤーズ・アーホンドたちも (7) 大ハーンから来る勅書を待っております。勅書が到着するには十数日かかります。我らは、勅書の到着の後ムハンマド・ニヤーズ・アーホンドたちをアリー・ヤール・ベグとともに猊下の許に遣わします。またベグたちより (8) 馬匹駄獸、[その他] 必要とされるあらゆるものを整えてコーカンドへ御奉迎のためにお送り致します。また、ムハンマド・ニヤーズ・アーホンドが我らに申しますには、シャフリ・サブズにいるスィッディーク・ベグをもホージャムとともに連れて来られるとのことでございます。シャフリ・サブズにも人を (9) 遣わされ、スィッディーク・ベグを連れてこさせてご準備なさるべく [お願い申し上げます]。ムハンマド・ニヤーズ・アーホンドとアリー・ヤール・ベグが [そちらへ] 到着の後、猊下も直ちに御夫人方、ホー

ジャム方、貴頭方をお連れになり、(10) [こちらに] 来るすべての従者を率いて出立してお出でになるべく [お願い申し上げます。] 我らを始めベグたち、カシュガルの人民、全ての弟子、帰依者たちは、世界を飾るご尊顔を拝する事を切望し、鶴首致しております。もし神が望み給うならば。(11) 我らはまた尚書、参贊大臣と商議致します。八月 [即ち] ジュマーディー・アル・アッワル月の十三日は(12) 大ハーンがご誕生になった偉大にして幸有る日でございます。大ハーンに服従する全ての方面の王、公、貝勒、貝子、貴人たちが集合致します。この日に猊下のおみ足がカシュガルに到着されたという書簡が(13) 大ハーンのもとに届きますならば、四十年この方窮乏の内を彷徨っていたサムサク・ホージャが我を頼って来たぞとて、全ての貴人たちを呼び集めて御披露になり、この喜びにおいて猊下に対し天より(14) 高く、地よりも厚い恩寵がなお一層増大するでありましょう。尚書、参贊大臣は、「我らがサムサク・ホージャに、(15) 大ハーンのかくも偉大で幸有る日に間に合うようにやって来られよと言って尽力した事への我らの褒賞は、(16) 大ハーンがお喜びになることに対して [我らが] 喜ぶということである。[大ハーンは] 多くの恩寵を与えられ、我らの時代における慶事は更に一層喜ばしく、サムサク・ホージャが敬意と名誉を受ければ受けるだけ、(17) 我らも亦益々喜ばしい。汝は、この我らの懇篤なる善意の心中を [記した] 書簡をサムサク・ホージャ様に伝えよ。それを知り、喜んで準備を整え、(18) ムハンマド・ニヤーズ・アーホンドとアリー・ヤール・ベグが到着し次第、疑念なく直ちに馬にて出立して来られれば、誠に結構である」と申されました。その故に、聖なるお耳にお知らせ致すべくムハンマド・アホンの手を通じ書状を差し上げます。(19) 大ハーンの第三年（一語不明）トリ、犠牲祭の月の十四日。

(印影) カシュガル・ハーキム・ベギの印(?) (+満州語+漢語)。

### 【注釈】

(1) Sāmsāq Xwājam. カシュガル・ホージャ家 Āfāqiyya の Burhān al-dīn の一子。その名は「大蒜」の意で Sarimsaq とも。父がバダフシャーで殺害された後、コーカンド方面に流寓していた。

Čū šabnam... 頭書に並べて二度繰り返して書かれているこの句の後半は破損している。Samsaq に対する頌辞であろう。

(2) Iskandar Beg. 早く雍正年間から清朝に帰服したトゥルファンの Amīn Xwāja の第五子。乾隆 44/ 1779 年、長兄の Sulaymān が郡王の爵を削られたのに伴って扎薩克多羅郡王を襲い、同 53/ 1788 年正月にカシュガルの三品阿奇木伯克に補任された。(王公表伝 卷 111, 21 b-22 b)

(5) Uluǰ Xān. 清朝皇帝を指す。この場合は嘉慶帝。この語が出現するときは必ず改行し、他の平出の行よりこの語の分だけ右に寄って書き出されている。この書式は明らかに台頭の形式をアラビア文字の文書に移したものである。

aliha ambān. < manchu. aliha amban. 尚書 (五体, 1200)。伊犁將軍を指すと思われる。嘉慶 3 年当時、保寧が在任。

xābā ambān. < manchu. hebei amban. 参贊大臣 (五体, 1212)。当時のカシュガル参贊大臣は長麟。

Narbūta Beg. コーカンドの支配者。1770–1799年の間統治。Sāmsāqの身柄の勾留と引き渡しの問題を巡って、清朝と外交的駆け引きを展開した。

(8) Šahr-i sabz. ブハラとコーカンドの間にあって、小なりと雖も独立を保っていたオアシス都市。Sāmsāqの舅はこの地の人と伝えられる。従って、この地にいるŠiddiq BegとはSāmsāqの縁者である可能性が考えられる。清朝側で、Sāmsāqに投降を最終的に翻意させたと伝えられる彼の義兄の名であろうか。

(10) murid muxlišlār. muridは正式に師弟の礼 bay'aを取って弟子となった者、muxlišはそれ以外の一般の帰依者。正しくは二語の間に接続詞 ū がなければならない。

(11) sekizinji jumādī al-awwal aynīng on üč. 嘉慶3年8月13日は、ヒジュラ暦1213年 rabi al-āxir 月11日(西暦1798/9/22)に当たる。

(19) Uluğ Xānning üçünji yili... 'id-i qurbān はzū l-hijjaの別名。西暦1798/5/30。嘉慶3年は戊午であり、酉ではない。東トルキスタンにおける十二支紀年の混乱については、Hamada 1992を参照。

(印影) アラブ文字、満州文字、漢字の三体が刻された四角い関防印である。

#### 【解説】

この文書の由来については幾つかの考究すべき問題がある。そもそも、Sāmsāqに宛てられた書簡が何故北京に現存するのか。「搜獲」されたことは付箋の記事からして確かであるが、それは何時の時点のことなのか。一旦はSāmsāqの手に渡ったのか、或いは伝送の途中で清朝官憲に搜獲されたのか。更に奇妙なことにこの書簡には明確な日付があるにも拘わらず、Newby氏がこの書簡の送付を嘉慶10年のこととしているのは何故か。問題を解く鍵のひとつは、この文書が同じく搜獲された文書Ⅱと一緒に、カシュガル参贊大臣鉄保等の嘉慶16年の奏摺に添付されているという事実である。以下に見るように、文書ⅡはSāmsāqの長子Muḥammad Yūsufによって派遣されたMullā Šūfiが携帯していた、カシュガルの住民に服従を勧めるとともに、Mullā Šūfiの身元を証明する文書であるが、文書Ⅰも彼がまさしくSāmsāqの息子の使臣であることを証明するために携行していたものかとも推察される。この文書が破損しているうえ何カ所かに落書きに類する書き込みがあることも、これが認められた直後に清朝官憲の手に入ったのではないことを暗示するものといえよう。いずれにせよ、1797年にSāmsāqが使節を派遣して投降の意志があることを清朝側に伝えてから、交渉は一端中断し8年後に改めてこの書簡が送られたというNewby氏の説明は誤解に基づくものであり、事実上、文書の内容と日付から明らかなように、直ちに投降を実現するための提案が清朝側からなされていたのである。思うに、Newby氏が見た漢訳文書には日付の訳が見えぬのであろう。

## II 嘉慶16年8月13日 鉄保等 8051–16

搜獲毛拉素皮携帯玉素普原書。漢訳あり。

## 【転写】

(i) Ḥaḍ[rat] ... sallamahu'llāhu ta'ālā (ii) Ḥaḍrat-i Muḥammad Yūsuf Xw[āja]

(1) Ḍikr-i nisb[at-i] šūrī Ḥaḍrat-i (2) qibla-i 'ārifān ka'ba-i 'ā- (3) šiqān nūr-i dida-i xwā-jagān. Ḥaḍrat-i Sayyid Burhān al-dīn ibn-i (4) Ḥaḍrat-i Xwāja Aḥmad ibn-i Ḥaḍrat-i Xwāja Yaḥyā Xwājam ibn-i Ḥaḍrat-i (5) Xwāja Hidāyat Allāh Xwājam ibn-i Ḥaḍrat-i Xwāja Muḥammad Yūsuf (6) Xwājam ibn-i Ḥaḍrat-i Muḥammad Īmīn Xwājam ibn-i Ḥaḍrat-i (7) Maxdūm-i A'zam. Mahdī al-āxir al-zamān Xwājam. Sayyid Qīlīč Burhān (8) al-dīn Xwājam. Ḥaḍrat-i Sayyid Xwāja Jahāngir Xwājam. Ḥaḍrat-i (9) Sayyid Xwāja Bahā'u l-dīn Xwājam. Ḥaḍrat-i Sayyid Xwāja Aḥmad Xwājam. (10) Ḍikr-i nisbat-i šajariy-ya iltifātīmiznī kōrūp Kāšgarda- (11) qī uluḡ ušaq hamma-i murīd muxlišlārim bizlārgā (12) xiḍmat bar jā keltürsilār bizlār du'ā-yi (13) xayr qilurmiz. Maxfi qalmaḡaylar in-šā'allāh. (iii) Mullā Šūfīni ibārdū- (iv) k bar jā.

(Seal impression. illegible)

## 【翻訳】

(i) 神は彼を守り給え。(ii) ムハンマド・ユースフ・ホージャム猊下

(1-5) 神智者たちのキブラ，神を愛する者たちのカアバ，ホージャたちの眼の光たる猊下の血統。サイイド・ブルハーン・アル・ディーン猊下 [その父] (6) ホージャ・アフマド猊下 [その父] ホージャ・ヤフヤー・ホージャム猊下 [その父] (7) ホージャ・ヒダーヤト・アッラー・ホージャム猊下 [その父] ホージャ・ムハンマド・ユースフ・(8) ホージャム猊下 [その父] ムハンマド・イーミーン・ホージャム猊下 [その父] (9) マフドゥーミ・アーザム。最終の時の救世主たるホージャム。サイイド・キリチ・ブルハーン・(10) アル・ディーン・ホージャム。サイイド・ホージャ・ジャハーンギール・ホージャム猊下。(11) サイイド・ホージャ・バハー・ウル・ディーン・ホージャム猊下。サイイド・ホージャ・アフマド・ホージャム猊下。(12) 我らが系譜の [示す神の] 恩寵を見て，カシュガル所在の大小全ての我らの弟子，帰依者たちは，我らへの奉公を実行せよ。我らは善き祈禱を行わん。神が望み給うならば。知られざることなかれ。(iv) 我らムラー・スーフィーを遣わし (v) た。

(印影。解読不能)

## 【注釈】

(i)-(iv) 文書の右上と左下を斜線で区切った欄。

(3) Nisbat-i šūrī. 霊的系譜 nisbat-i ma'nawi に対し血統を言う。道統が血統によって伝えられるとする観念が確立した17世紀以降の中央アジアでは，nisbat-i šūrī wa ma'nawi という言い方が頻出する。

(9) Sayyid Qīlīč Burhān al-dīn. カシュガル・ホージャ家に関する複数の聖者伝において，聖者 Burhān al-dīn Qīlīčはこの家系の先祖とされており，Sāmsāqの父のBurhān al-dīnの名にもQīlīčというエпитェットが冠せられる場合がある。この聖者については，濱田2006：40-41，注27を参照。

## 【解説】

Muḥammad Yūsuf の名によって認められたこの文書の前半が、Sāmsāq の父 Burhān al-dīn から Maxdūm-i a'zam に遡る Āfāqiyya の系譜であることは一目瞭然である。しかし、Mahdi al-āxir al-zamān Xwājam 以降は単に五人の人名が羅列されているだけであり、就中 Sāmsāq の名が見えぬ点は聊か不審である。ところで、堀氏が抄写されたこの文書の漢訳 8051-17 では、中間に Sāmsāq の名が補われ、Mahdi は Muḥammad Yūsuf の称号、人名の内四人は Sāmsāq の子、一人は孫と明記されている。原文は以下の通り。

謹將搜獲毛拉素皮攜帶玉素普原書一封，據阿渾等譯出恭呈。御覽。

接續嗣子之言，此象神尊貴就如上天墨柯，眾和卓的眼睛珠一樣。〔中略〕邁哈托木愛雜木。薩木薩克之長子邁哈莫特玉素布和卓木。號稱邁第愛哈爾雜滿。次子色依特墨（？）里齊布喇呢敦和卓木。三子色依特和卓張格爾和卓木。四子和卓巴哈瓦底音和卓木。孫子色依特和卓愛哈莫特和卓木。將此送與我們所有在喀什噶爾之大小眾阿克塔哈里克人等，作為家譜。爾等見此書，若與我們施捨，我替你們救告上天與你等救福，不可忘了。將毛拉素皮差派前往訖。

この文書を訳出したアホンたちは、恐らく Sāmsāq の家族構成について詳しい情報を持っていたのであろう。いずれにせよ、彼の息子の数は三人というのが通説であり、四人というのは管見の及ぶ限りではこのみに見える情報である。

### Ⅲ 道光 17 年 9 月 5 日（8 月 1 日）奕山 8072-47, Newby 2005: 206

浩罕伯克邁買底里原稟

## 【転写】

(1) Iš bašqargan xābā anbānlarga söz šol-kim al-ḥamd li-llāh wa 'l-minna tāngri wa ta'ālā  
 (2) karam-i bilā-nihāyasī birlä dāt-i xujasta-šifātīmiz salim al-'aḍālik jādāsīda (3) bar qarār bolup narx arzān wa ri'āyā āsāyiš mihādīda du'a-yi dawlatğa mašgūl bolup āmin deǵaylar. (4) Bu šukrāna bilā qalam. Wa aṭrāfi ḥirāsāt bizgä lāzim üçün Sariqol-bānga fuqarā wa bādiyya-nišin pāsbanliq üçün (5) nečā 'adad kiši ilgār qoyup edük. Ol fuqarālar-īmiz içidin Qulčāq degän baṭṭāl nābikār nečā [...] wa (6) nā-šāyast [sic. <nā-šāyasta] išni piša äyläp iki mamlakatni faš qılmaq üçün qoygan ilgārīmizdin iki yüz (7) at oǵurlap alıp dur. Anıng arqasidin at wa ilāğini istāp bargan xıḍmatkār- (8) larīmizni qırq ellig kişini makar ü firib birlä tutup öltürdi dep anıq mubārak sam'ibizgä yetkän (9) zamān xıḍmatkār-i darbār-i falak-madār beglār begini amr qıldıuq. Xıḍmatkār-i maḍkūr farmān-i 'ālimiz bilä iş tutup (10) ol oğrini siyāsāt martabasıgä yetkürüp wa yenä har yandağ bi-adabni 'ibrat almağı üçün qārāul- (11) dīn tašqar yanıp keldi. Wa imdi Qulčaqni qarındaš wa urğı bolsa öz jāyığa çıqip oltursun, (12) gunāhidin öttük. Wa āsāyiš-i xalq-i allāh wa tujjār wa çerük maqşad wa mudda'ā bolsa xıḍmatkārlarga amr (13) bolur-kim qarāuldin içgärgä daxl wa ta

'arruđ yetküzmasün. Wa taşqari bolsa o yandaki (14) xalq andiša qılmaq nihayat lâzim wa alzam dur. Wa Bâçin Xâni birlâ bizning aramızda âšnâliq (15) bar qarâr wa ustwâr dur. Hiç taşwiş wa gubârî xâtir yoq tur. Bu ortada amânî wa âsâyiş fuqarâ (16) wa uşaq xalq manzûr dur. Wa yenâ silâr jawâb tilâp xaţţ yazîp yibârgân mađmûn üçün jawâb (17) yazîp yibârdük. Qalğan til sözni xaţţ ketürâp bargan aqsaqal aytsa inanmaq kerâk, 1253.

(Seal impression. illegible)

【翻訳】

(1) 事を管轄する参贊大臣への言葉は以下の如し。賛美と加護は神のものである。至高の神の(2) 無窮の恩寵によりて、天性の幸運の主たる我らは身体壮健の大道に(3) 屹立し、物価低廉、臣民安寧の坐床において国運上昇の祈禱に専心してアーミンを唱えんとするものである。(4) この謝恩をもって [挨拶については、擱] 筆 [する]。さて、辺境の警護が我らに必要となったが故に、人民と遊牧民の警護のためにサリコルの警護に(5) 若干の人数の前衛部隊を置いた。この我らの人民の内よりクルチャクという無法無用者が、数々の(一語不明)と(6) 不法の事をしでかし、両国 [の境] を明らかにするために置いた我らが前衛部隊から二百頭の(7) の馬を盗み取った。その後ろから馬匹を捜索して至った我らが家来の(8) 四、五十人を偽計欺瞞によって捕らえ殺したと、確かに我が幸ある耳に届いた(9) 時、天空の軸たる宮廷の家臣であるベグレルベギに我らは命じた。この家臣は我らが高貴なる勅令に依って事に処し、(10) 彼の盗賊を処刑し、またあらゆる方面の無礼者が教訓とするよう [にした上で] 哨所(11) の外へと戻って来た。また今クルチャクの兄弟並びに一族がいれば、元の地に行って住まえ [と言って] (12) 我らはその罪を許した。また神の民、商人、軍隊(?)の安寧は [統治の] 目的、原因であるから、[人民を] (13) 哨所の内へ進入させてはならぬと家臣たちに命じた。哨所の外であれば、その方面の(14) 人民を軫念することは、[我らにとって] 必須喫緊 [の事柄] である。北京のハーンと我ららの間の友誼は(15) 確固たるものであり、[双方において] 動揺、惑乱は皆無であり、この間にあって安全と安寧は人民、(16) 小民の感得するところである。また汝らが回答を求めて書簡を書いて寄越したがゆえに、回答を(17) 書いて我らは送付した。その余の言葉は書簡をもたらずアクサカルの言を信じるべし。1253。

(印影。読解不能)

【注釈】

(4) Bu şukrâna bilâ qalam. qalam qoyduq もしくは qalam qoyuldî の動詞が省略されていると考えられる。

(5) ilğâr. 'ein Überfall auf den Feind (meist auf eine Stadt) mit berittenen Elitetruppen' [Doerfer: Abschn. 70]; 'qo'shinning oldingi qismi, avangardi' [Ma'rufov: 1-324].

Qulçâq. サリコルの ħâkim beg. この文書に見えるように、コーカンドは彼を自らの臣下であると主張して、サリコルの領有権を主張する清朝と争っていた。

(9) beglâr begi. コーカンドの最高官位である ming-başı の言い換えであると思われ、当時この地位にあった Laşkar Quşbegi (これも通称であって本名は不明) を指す。



(10) qarāūl. 'Spähtrupp, beritene Patrouille' [Doerfer: Abschn. 276]. しかし、哨戒部隊の駐屯基地もまたこの名で呼ばれ、当該の時代では、ほぼ排他的に清朝の設置した衛所 karun を指す。

(12) čerūk. čerik の転訛か。

(17) 1253. 西暦 1837/ 道光 17 年

【解説】

これは、前年に発生したコーカンド軍のサルコルへの侵入とクルチャクの殺害について釈明するために、Muḥammad 'Alī Xān から送られた書簡である。13-14 行に当たる漢訳を Newby 氏は、Our people will not be allowed to venture within the *karun* and make trouble in that area again and as for those outside the *karun* we can control them ourselves と訳しているが、厳密に言えば下線の部分は原文書には存在しない。この書簡が全体として融和的な調子で貫かれていることは、Newby 氏の指摘の通りであるが、下線部はそれを一層強調するものである。いずれにせよサルコルは karun の外に位置するから、Muḥammad 'Alī は暗にその領有権を主張していると解釈することが妥当である。

IV 道光 22 年 7 月 22 日 函名額 8072-29, Newby 2005: 211

布噶爾伯克呈遞原稟恭呈。御覽。漢訳あり。

【転写】

(1) Huwa 'l-ḥayy

(2) Yurt tutup jami'-i fuqarālarni āsāyiš bilä (3) iš tuta durġan xäbä anbänlargä

(4) andaġ ma'lüm wa mašhür bolġay kim li-llähi 'l-ḥamd wa 'l-minna awliyā. Laškar-i qähira-i nušrat (5) äin bi-maḥḍ-i imdäd-i ḥaḍrat-i rabbi 'l-'älamin wa i'ānat-i šar'-i mubin tiġ-i (6) siyāsat čekip qahramän-i millat etip sulx-i rabi' al-awwal (7) ayi bars yili čahāršanba küni mamälik-i Qoqandġa nuzül-i ijläl arzänliq (8) äylädük. Bu gibi fatḥ ü nušratning i'lām ü ixbārī ücün mu'tamad-i (9) dargäh-i 'ālam panāhimiz Ibrähim Beg mir-i axür wa Pāčä Xwāja nikäül jānibġa (10) irsäl qilduk. Qalġan til sözini šidq wa rāst bilmäq keräk. 1258

【翻訳】

(1) 彼は永世者なり。

(2) ユルトを管轄し、全ての人民を安楽もて (3) 管理する参贊大臣に。

(4) かくの如く知られかし。賛美と聖者方の加護は神のものである。常勝不敗の軍勢は、(5) 万有の主たる御方の天佑と明白なる聖法の恩寵によりて、成敗の剣を (6) 抜き放ち、教えの威勢を顕示して、ラビー・アル・アッワル (7) 月の末日、虎の年、水曜日、コーカンドの地方に堂々の到着を易々と (8) 行った。かかる勝利戦勝の報知のために、(9) 我らは、世界の避難所たる我らが宮廷の忠臣、主馬の頭イブラーヒム・ベグと追敵軍指令パーチャー・ホージャをその方へ (10) 派遣した。

その外の〔使節の〕言を真正真実であると知るべし。1258

【注釈】

(6) sulx-i rabī' al-awwal... 1842/5/11. トラ年は中国の紀年と合致する。

(9) nikāül. 'Verfolgungskommando' [Doerfer: Abschn. 392].

【解説】

この文書は、ブハラのアミール Naṣr Allāh からのコーカンドを攻陥したことを通告する書状である。その漢訳である 8072-28 では、4-6 行の内容は「我們托上天的福，遵經典上的禮，仗兵的氣力」と訳され、原文の堂々たる口吻は無視されている。数ヶ月後、遊牧部族の支持を得た Šir 'Alī はブハラ軍を駆逐してコーカンドの支配を恢復した。

V 道光 24 年 10 月 29 日 奕経 8073-13, Newby 2005: 213

浩罕伯克胡達雅爾呈遞帕爾西稟字恭呈。御覽。

【転写】

(i) Qibla-gāhīm (ii) nuwwira marqaduhu

(1) 'Uṣrat-kišliq xayriyyat-andišliq Kāšgar yurtiniṅ tosqañi (?) anbān

(2) Žuhūr al-din Beg Tāji, farmān-i jahān-ārā-yi 'ālī-mizdin umīdwār (3) wa sar-afrāz bolup anglasun-kim iṣdār-i ḥukm-i jahān-muṭā'-i wājib al-ittibā'-i 'alī-ḥaḍrat-i qudsi bilip ūrdū-yi manzilat-i (4) ḡill Allāhī, lahu tamāmī xubūr ḡayr ma'dūd, dār al-xilāfa-i Xwāqandnī rikāb-i nuṣrat-manāb-i 'ālimizga salīp 'inān-i ḡafar-nišānimiznī (5) firqa-i 'adw-i fitna-jū sarī maṣrūf etip nečā manzil marāḡil kezip Soḡdlar orasiḡa barīp ṣafā rāstliq maslūb (6) uruṣ wa sawaṣ muhāraḡa wa purxāṣ yeriḡa yetti kim kūni dam-i tiḡ sadd-i riḡdin ötip asir wa dastgir bolup [...] al-sayf (7) amān tilāp ribqa-i iṭā'at wa qulčuluḡa kirip asliḡa wa yaraq at wa anjām-i lā yu'addu wa lā yuḡṣā maḡmūl mubārizlāri (8) razm-āzmā bolup murāja'at qīlur čāḡda sāmi'a-farsā boldi-kim bir nečā ḡarām-zāda arbāb-i xannās (9) wa payrawlarī yuwaswisu fi ṣudūri 'n-nās tuz nā-šinās 'Ālim Xān oḡli Murād Xānning ṣahrnī ādamsiz (10) tapīp kirgüzüp taxtḡa otquzup ḡaḍrat-i ḡill Allāhīni ṣahīd qīlup durlar. Anīṅ üčün innā li'llāhi wa innā ilayhi rāji'ūna. Wa [...] (11) tawaqquf-i dū-rang etmāy ḡaḍblanup samand-i xōṣ-xirām-i jahān-paymāḡa rākib bolup quṣinī ṡayyār xanjar-ḡuḡārnī (12) jīlawḡa salīp barq-āsā az ayyāmda yetip kelip bar jumlada dār al-xilāfa-i Xwāqand nik [sic.<ning] zir ū zabar maftūḡ (13) wa musaxxar etip maḡkūr bolḡan Murād Xānning ol namak-ḡarāmīlarla baṣ kesip altun taxt-i mawrūḡa (14) ustwār wa bar qarār boldum. Biz xalqñi 'aluwwī ḡaḡq Qulīdīn song muḡarrar bolḡan sulḡ [sic.<ṣulḡ] wa mu'āhida kim 'ibārat (15) tört mudda'ādīndur muḡim dep ta'ziyyat wa tahiniyat i'lāmīḡa xayr-xwāḡ Xāl Muḡammad dādxwāḡ wa 'Isā mīr-axūrnī buyurdīm. 1260.

(Seal impression) Sayyid Xudāyār Bī bn-i Šir 'Alī Xān. Muḥammad Payğambar (?) 1260

【翻訳】

(i) 我がキブラの場 (ii) 彼の墓が照らされかし。

(1) [人民に] 避難所を供給し、福利に配慮するカシュガルのユルトの支配者(?)たる大臣[と]

(2) ズフル・アル・ディーン・ベグ台吉は、我らの気高く世界を荘厳する勅書によりて希望を抱

き(3) 栄誉に与りつつ、以下の如くに知るべし。聖にして高貴なる陛下の、恭順を必須とし世界が

服従する命令の渙発を知り、(4) 神の影なるお方——彼について知らせるべきことは数知れぬ

——の宮殿、カリフ権の館コーカンドを我らが崇高なる天佑を享けたる轡に置き(=コーカンドを

発って)、我らが常勝の手綱を(5) 反乱煽動者たる敵の一群の方へと向け、何日か旅宿を重ねてソ

グドラル・オラスィに至って、容赦なく(?) (6) 戦いの場に至った。その日、剣の切っ先は苦痛

の防御を貫通し、[敵は] 捕虜となり……(7) 命乞いして服従の羈絆[に繋がれて] 奴隸身分とな

り、無数無量の武具、馬匹を鹵獲し、勇士たちは(8) 戦功を挙げて帰還しようとした時、耳に届い

たことには、宮中の若干の生まれ卑しき邪悪な有力者たち(9) とその追従者たちは人の胸中に悪意

を吹き込み、塩[の恩]を無視し、アーリム・ハーンの息子ムラード・ハーンを、城に人なきを

(10) 見計らって引き入れて玉座に坐せしめ、神の影たる陛下を殉教させたとのことであった。それ

故に、「誠に我らは神のもの。彼の御許に帰り行く。」(11) あれこれ躊躇せず震怒して、世界を一跨

ぎにする快速の駿馬に騎乗し、軍勢を整え、剣を(12) 先立てて稲妻の如くに日ならずして至り来て、

一挙してカリフ権の館コーカンドを上下転倒させ、占領(13) 包囲して、上述のムラード・ハーンを

かの塩の汚れである者どもとともに斬首して、父祖伝来の黄金の玉座に(14) 我は確乎として坐した。

我らが民の偉人ハック・クリ以来定められた四項目より構成される和約と条約は(15) 依然有効であ

るという[通告とともに、我が父の] 哀悼と[我が即位の] 祝賀の報知のために、近臣ハール・ムハ

ンマド・ダードハーとイーサー・ミーラフルを遣わした。1260

(印影) サイド・フダヤール・ビー・ブニ・シール・アリー・ハーン; 預言者(?) ムハンマド。

1260

【注釈】

(1) Kāšgar yurtiniŋ tosqanī anbān. この行の後半の殆どの文字には点が打たれておらず、tos-

qanī は仮の解読である。道光 11/ 1831 年、参贊大臣の駐劄地はカシュガルからヤルカンドに変更さ

れたが、コーカンド側は一貫して「カシュガル地方の大臣」の名称を用いていた。

(2) Žuhūr al-dīn Beg Tāji. トゥルファンの Amin Xwāja 家の出身。Jahāngir の侵入平定後、カ

シュガルの ḥākim beg に任じられ、長期にわたってコーカンドとの交渉を担当した [Fletcher 1978

b: 372-373; 濱田 1993: 130]。

(4) ẓill Allāhi. ẓill Allāhi fi l-arḍ の略。「地上に映る神の影」。ここでは、Xudāyār の父 Šir 'Alī

Xān (在位 1842-1844) を言う。

(5) firqa-i 'adw-i fitna-jū. Newby 氏の訳では、some bad Qirghiz who were our enemy と見え、

漢訳にはキルギズを意味する布魯特の語があるらしい。

Soğdlar orasi. ora は穀物貯蔵用の縦坑。ここで Soğd と読んだ語は、Mgd である可能性も否定できない。

(9) yuwaswisu fi şudūri 'n-nās. 『クルアーン』114章5節。

tuz nā-šinās. 「塩の義務」を知らぬ者、即ち忘恩者。「塩の義務」については、濱田 1993: 135-138.

'Ālim Xān. Nārbūta の子。在位 1799-1811 年。

Murād Xān. Xudāyār は、この篡奪者を xān と呼んでいるが、Newby 氏によれば漢訳では、'Ālim Beg, Murād Beg とハーンがベグに替えられている。清朝は一貫して、コーカンドの支配者がハーン号を称することを承認しなかった。

(10) otquzup. ötküzüp の前母音が後母音に交代した形であると考えられる。当時既に実際の発音上では、前母音と後母音の区別が失われていたことが窺われる。

innā lillāhi wa innā ilayhi rāji'ūna. 『クルアーン』2章156節。

(14) Ḥaqq Qulī. コーカンドの ming-baši. Muḥammad 'Alī Xān (在位 1822-1842) の義兄弟（もしくは乳兄弟）であり、長期にわたってハーンの右腕として働いたが、1832年にハーンにより処刑された。

(印影) Xudāyār Bī. xān 号を刻した印章の製作が間に合わなかったらしく、即位以前に用いられていた印章が押捺されたものと思われる。

#### 【解説】

この文書は Šir 'Alī の逝去と Xudāyār の即位を通報する正式の国書であり、それに相応しく『クルアーン』の引用を交えた inšā 体で認められている。「ハック・クリ以来定められた云々」以下の文は、Newby 氏の英訳には見えず、恐らく漢訳文書で既に省かれているのであろう。ここに言う「四項目から構成される和約」とは、1832年にコーカンドが Aḥmad Bay, Dūkār Bay の二人の使節を派遣して要求した、Jahāngīr の侵入に連座して流刑に処せられたカシュガルの住民の赦免と帰還の承認、没収された彼らの土地、家屋、茶葉の返還、新疆へ入境する外国人に対する支配権の承認、コーカンドの使節とともに新疆に赴く商人に対する徴税権の承認を指す [潘志平・蔣莉莉 1988]。潘、蔣両氏が紹介した原文書に依れば、第三、四項の原文は、qarāūlnīng tašidīn kirgān xalq ādamilārning fuqarālikini ilčilār bilān kelgān kārvānlārning bājini bersāngizlār であるが、清朝側はこの「哨所の外部から [新疆に] 入った人々の臣民としての地位」すなわち彼らに対する支配権を要求する第三項を、アクサカルの設置要求であると理解して四項全てを許諾した。この許諾は揚威將軍長齡の書簡によってコーカンドに伝えられたもので、もとより天朝の立場からすればコーカンドを対等の相手として承認した上での和約ではあり得ない。しかし、コーカンドでは、それは紛う方なく şulḥ, muwāḥida として了解されていたことは、この書簡から明らかである。「ハック・クリ以来云々」の文章を翻訳し得なかった所以は、双方におけるこの条約の存否についての見解の齟齬に存すると思われる。当然ながら原文書末尾の紀年も漢訳されておらず、Newby 氏は 'The actual correspondence between Khoqand and Altishahr which relates to these events is undated' と述べた上で、この

文書が添付された奕経の奏摺の日付によって、Xudāyār の即位を、通説の 1845 年ではなく 1844 年に確定できているが、原文書にヒジュラ暦 1260/ 西暦 1844 の紀年がある以上、奕経の奏摺の日付云々は余計な議論であった。

## VI 道光 24 年 10 月 29 日 奕経 8073 – 20, Newby 2005 : 222

浩罕明巴什木素滿庫里呈遞帕爾西字原稟恭呈。御覽。漢訳あり。

### 【転写】

(1) Sekiz šahrni yosunlay durğan xābā anbān  
 (2) Imārat-panāhliq iyālat-dastgāhliq xayriyyat-kīš 'āqibat-andīš rif'at ū manzilat-qarin 'izzat ū ḥukūmat-āyin muwaddat ū muruwwat-āgāhning (3) šukrī ta'ālā šiḥḥat ū salāmat jādasīda bar qarār tutḡay. Songra sōz bol-kim yibārḡan ilčiglaringiz ašraf awqāt wa as'ad  
 (4) sā'atda āsanlik xaṭṭini alip kelip yetküzdi. Sizlarning āsanliklaringni wa yurt tijnliqi wa muslimānlarning (5) āsāyiš wa arāmišlarin išitip xursand ū xōš-waqt bolduq. Wa ol xaṭṭda yazilḡan ikān kim ba'ḏi aḡačalarning xiṭāy (6) alip ikān. Alardīn ajratip wa alḡan xiṭāylarni wa alarḡa yetkān aḡačalarni šiddatlik 'adāb qildim. (7) Wa men ba'd bol yurtda aḡačaḡa xiṭāy qolinī yetmāy-durḡan qilip tanbih wa ta'zir balig berur men dep delip ikān, munga ham kōp (8) xursand bolduq. Čirā kim dīn wa āyin rusūmīda wa xiṭāyni yosunīda ham mundaq išlār yoqdur. Wa har giz mundaq (9) išlār yurt-dārlīq yolīdīn bolmasa kerāk. Wa yenā ol xaṭṭda taḥrīr āytilip ikān kim qarāulning ičidāki (10) kašmirlik wa badaxšilik wa qirḡiz wa qipčaq zakāti wa yenā qarāulning ičidāki musāfirlarning tarḡan yerlərini (11) 'ušri xāniyyaḡa tābi' wa sizlārḡa tābi' emās delip dur. Wa ḡalā nigah (?) kōp xalqlar bilā dur kim qadīmdīn xāqānni (12) buyruši birlān bu ḏīkr tapilḡan išlār kullān bizḡa tābi' wa özgā kišini iši yoqdur. Ḥalā ham sizlār (13) xūb sa'y wa kūšiš qilinglar kim iš šol yerḡa qarār tapsun wa nizā'ḡa 'āid bolmasun. Mabādā kim (14) aṭraf ū jawānībdāki xiḏmat-kārlar bu išni boluši üçün aṭrafīdīn talāš qilsalar bu arada bir munāqaša (15) paydā bolup xāqān qulaḡiḡa yetip yaxši bolmas dur. Bu xaṭṭ yetip wa yurt tijnliq közlāp yaxši jawāb beringlar. Mundīn artıq har qanča (15) til sōzini i'timād āḡāh Aqsaqal Dādxwāhḡa äytdük. Bizning jān-ibimizdin har nemārsā desā qabul qilinglar. Wa aqsaqal (16) sizlārdīn išitkān sōzini bizlārḡa 'arḏ qilir. Wa yenā Tubūt yolīnī zakāt üçün Sarqitaḡa Muḡammad Amin qarāul begini qoyduq. (17) Jumādī al-awwal ayīnī on törtünjisi as'ad sā'atda šanba küni raqm bolundī. Wāḏiḡ bolḡay. 1262.

### 【翻訳】

- (1) セキズ・シャフルを統治する参贊大臣
- (2) 政権の抛り所, 統治権の機能する所, 善事の実行者, 先見の明ある者, 高位に達した者, 栄誉

と権力により飾られた者、友愛と義侠を知る者の(3)感謝を、至高なる神は壮健の大道に確立されかし。さて用件は以下の如し。あなた方が使わした使者は最も神聖にして最も幸いなる(4)時に、健勝〔であるとの近況を知らせる〕書簡を持ち来った。あなた方の健勝、ユルトの安寧、ムスリムたちの(5)安楽と静謐を聞き及んで、我らは満足愉悦した。その書簡に書かれていることであるが、「若干の女たちをヒタイ人が(6)娶っていた。彼らを別れさせ、娶ったヒタイ人と彼らの許へ行った女たちを、私は厳しく懲罰した。(7) また私は今後このユルトにおいて、女にヒタイ人が手を出さぬように、監視と懲罰〔を行うこと〕を言明した。」と言われていること、これにも大いに(8)私は満足した。何故ならば、〔イスラームの〕宗教、宗旨の規定においてもヒタイの定めにおいてもこのような事はなく(=認められず)、このような(9)事はユルトを支配する道に決してあってはならないからである。またこの書簡に記されていることには、「哨所の内側に居る(10)カシュミール人、バダフシャー人、キルギズ、キプチャクのザカートと哨所の内側に居る寄寓者が耕す土地の(11)ウシュルは、ハーンの所有に属し、あなた方には属さない」と言われている。現在多くの人々が知るところであるが、以前よりハーカーンの(12)下知によってこの上述のもの(=ザカートとウシュル)は全て我らに属しており、他人には関わりがない。今もまた、(13)事態がこの所に決着して、かつは紛糾を引き起こさぬように、あなた方は良く努力すべきである。[さもなくんば]不幸にして(14)辺境に居る[我が]家臣たちがこの件の実現のために辺境から[そちらに行って税]取る事態になれば、紛争が(15)発生し、[それが]ハーカーンの耳に入れば、良くないであろう。この書簡に至れば、ユルトの静謐に鑑みて、良い回答を与えよ。この他の全ての(16)言葉は信頼するアクサカル・ダードハーに告げてある。彼の言うことは全て我らの方からの言葉であると了解せよ。またアクサカルは、(17)あなた方から聞いた言葉を我らに上申するであろう。またチベット道のザカート〔の徴収〕のために、我らはサルクタにムハンマド・アミーン・カラウルベギを置いた。(18)ジュマーディー・アル・アッワル月十四日土曜日トリ年、最も幸ある時刻に、土曜日に記された。明白であれかし。1262

#### 【注釈】

(1) sekiz šahr. 漢語「南路八城」に対応するテュルク語。

(10) xāniyya. xān を語根としてアラビア語風に作られた名詞。「ハーンの所有」もしくは「官有」を意味する。

(15) dādxwāh. “Buxoro xonligida adolat istovchilardan amir nomiga ariza qabul qiluvchi lavozimli kishi” [Ma’rufov 1981: I-231]. 文書に言う aqsaqal dādxwāh は、この書簡を携行した、1844年から48年までコーカンドのアクサカルであった Ni'mat Jān のことである。

(16) Tubūt yoli. サリコル以遠のラダク方面との交通路を指すか。Sarqita という地点も未詳。以下に見るように漢訳では色列克雅爾<Sariqyār となっている。

(17) Jumādi al-awwal... 1846/5/10. この年道光26年は丙午年であり、酉ではない。カシュガルの十二支に依ったのであろう。

## 【解説】

表記のように堀氏の覚え書きでは、この文書は道光 24 年の奕経の奏摺に添付されていると記されているが、文書の紀年 1262 は西暦 1846/ 道光 26 年であって、24 年とは合わない。檔案館における整理の際の混入であろうか。他の文書にも時に見受けられるが、この文書では所有格は一貫して ni/ni で表されている。

付箋の記事によれば、この文書の差出人は、コーカンドの ming-baši, Musulmān Qulī である。彼は、幼少の Xudāyār をハーンに即位させ、1846 年には Xudāyār の兄 Sarimsaq を毒殺するとともに、娘をハーンに嫁入らせて、コーカンドの実権を掌握した。この文書の後半は、文書 V においてコーカンド側が確認を求めた四項目の和約のうち、第三項の遵守が拒否されたことに対する抗議文であり、しかも辺境の家臣たちが実力を行使して新疆在住のカシュミール人その他からの徴税を行う可能性をもって、清朝を威嚇する内容となっている。先に見たとおり、清朝の側ではこの第三項を単にアクサカルの設置の許可と認識していたが、コーカンドは新疆に寄寓するあらゆる人間に対する支配権の承認であると理解しており、それ故にこそ「以前からハーカーンの命令によって」認められているとの主張を行っているのである。この部分以下の漢訳は以下の通りである。

又説、卡内居住克什米爾，巴達克山，布魯特，希皮察克，他們的稅種地的租子都是大皇上所管，不是你們所管的。從前大皇上有諭旨，把租稅都賞了我們了。眾人都知道這箇沒有傍人的事。只求與我們施恩。照依從前定下的例，辦兩下裡就不爭競了。若是把租稅不與我們，卡外我們管的人生出事來。大皇上聽見就不好了。這個事情總要思想著地方上平安，與我們吩咐著。我信服的人呼岱達大頭哈爾與我個回信我。又回的話，推依博特路上色列克雅爾地方，把邁買底敏放了。卡子伯克在那里抽推依博特往來貿易人的貨稅呢。四月十四日，陝比坤遞的稟子。

ここでも、原文書の威嚇的口吻は聊か緩和されていると言えるであろう。極めて興味深いことに、最後の一文「qāḍī beg がその地に駐在して、チベット往來の貿易人の貨税を徴収する」は原文書にはない。陝比坤はšanba kūni の音訳である。

## VII 道光 24 年 10 月 29 日 奕経 8073-21, Newby 2005: 223

呼岱達奈邁提撰給布魯特國書原字恭呈。御覽。

## 【転写】

- (1) Aqsqal Dādxwāh Pājjāmdīn  
 (2) Qīzil taḡdīn Toxta Qulī, Qāḍī Qalam Bī, Aq Baḡiṣ Gāh Muḥammad Yūsuf Bī wa Dāniyāl Bīlārgā du'ā-yi salām degāč söz bol-kim (3) ming baši quš begīning ḥukmları šol ki ḥālā ang-lasam sizgā ta'allūq sizni fuqarālarīngīzdīn bir nečä (4) qīrgīzlar xīṭāydīn čūng-ši alip kīgān imiṣ. Siz barip čūng-ši kīgānlārni taḥqiq qīlīng. Har qay- (5) sīkidin čūng-ši algan bolsa qolīga tapšurup bersün. Agar qolīga tapšurup bermalmasa čūng- (6) šīlārini alip kelip sizgā tapšursun. Siz bizgā ibāring. Yoq agar bu sözlār ma'qūl bolmasa šol (7) čūng-ši kīgānlār

munda kelip bizni du'ā qilip yansun. Agar yoq desā šu sababdīn kiši barip (8) čapsa bizdin wa sizdin kīna tutmasun dep ĥukm iltifāt qıldılar. Bizdin ištürmaq sizlār- (9) din angla-maq dep bergän xaṭṭ. Badaxšini işiğa ham abdan köngül qoysanglar bola dur. (signature)

## 【翻訳】

(1) アクサカル・ダードハー・パッジャームより  
 (2) キズィル・タグのトフタ・クリ, カーズィー・カラム・ビー, アク・バギシュ・ガーフのムハンマド・ユースフ・ビー, ダーニヤール・ビーたちに挨拶を述べたのち, [用件の] 内容は以下の如くである。(3) ミン・バシ・クシュ・ベギのご命令は次の通りである。「現在聞き及ぶに, お前たちに隷属するお前たちの民の内, 若干の (4) キルギズたちがヒタイから頂子を得て着用しているという。お前たちは行って頂子を着用しているものを調査せよ。如何なる者 (5) からであれ, 頂子を得た者がいるなら, [ヒタイの] 手に委ねさせよ [=返却させよ]。もし返却出来ないならば, 頂 (6) 子を持ってきてお前たちに委ねさせよ。お前たちは [それらを] 我らへ送れ。しからずして, もしこの命令に承伏しなければ, その (7) 頂子を着用した者は, ここまで来て我らに挨拶して戻れ。もし否というなら, その理由により人 (=軍勢) が馳せて (8) 行っても, 我らをもお前たち自身をも恨むではない。」と命令を下された。我らが言い聞かせ, お前たちが理解するようにと与えられた書簡 [は以上である。] バダフシャー人のこともお前たちが良く注意をするならば, 重量である。花押。

## 【注釈】

(1) Aqsaqal Dādxwāh Pajjām. 文書VI (15) に見える Aqsaqal Dādxwāh と同一人物である。付箋の Hu-dai-da Na-mai-ti は即ち Ni'mat である。(Hu-dai-da は manchu. hūdai-da 「商業の頭目」であるとの説が岡田英弘によって提起されたが [Fletcher 1978 a: 84], この満州語自体が pers. xudādād に由来するとの指摘もなされている [Newby 2005: 65, n. 59]。いずれにせよアクサカルに対する清朝側の呼称である。)

(2) Qizil tag. サリコル方面の地名であると推察されるが不詳。

Aq Bağıš Gäh. Bağıš はキルギズの有力な部族の名であるが, この地名は不詳。

(3) ming baši quš begi. 即ち上述の Musulmān Quli のことである。

(4) čüng-ši. Newby 氏は漢訳に基づいて, これを insignia と訳している。音韻的には随分と隔たりのあるようにも思われるが, 頂子もしくは頂珠に由来するのではなからうか。

## 【解説】

堀氏の覚え書きではこの文書も先の文書VIと同様に, 道光24年の奕経の奏摺に添付とされているが, 検討の余地があろう。サリコル方面のキルギズの帰属を巡る争いが, 清朝官憲から与えられた頂子の着用の問題として表面化したのである。これらのキルギズに対する Musulmān Quli の指示をヤルカンド駐在のアクサカルである Ni'mat Jān が取り次いでいる点も注目される。



## VIII 道光26年12月6日 図明額 8096-39, Newby 2005: 218

浩罕伯克呈遞稟恭呈。御覽。漢訳あり。

(1) Öz rasmī bilān iş başqargan xābā anbanlargā  
 (2) söz bol-kim al-ḥamdu li-llāh wa'l-minna tāngri ta'ālā karam bilā nihāya- (3) sidin kay-fiyat-i aḥwālāt wa kāmrānlīgmiz nurgun čärik bilā musta'idd wa bar qarār (4) bolup kündin küngä farmān-farmāyliğ martabasida muḏā'af dur. Bu hangāmda (5) mubāarak qulağimizga čünān sāmi'a-afrüz boldi-kim iki yurtni arasida yürgän (6) wa iki šahrni ābād wa tijnliğga sabab ū bā'is bolgan nečä ṭāifa tujjār wa māynmānči (7) wa ušaq xalqni nečä 'adad yāmbūlik afyūnini otka küydürüp pulni bermāy (8) zār yığlatip bi-waṭan äylāmaq bu ṭāriqa ta'addi qılmaq qaysi rasm yurt tutmaqda (9) munāsib dur. Wa yenā nečä muslimāni solap boyunğa taxta urup aḏā wa ihānat (10) ḥaddin tašqari yetküzüp awsa wa nā-šāim [sic.<nā-šāyasta?] išlār wāqi' bolup-dur. Bu taxribdin (11) namak-xār-i darbār-i 'ālimiz wa altun bosagani mustaqimi Mirzā 'İšmat Allāh munšini yübārdi-kim on birinji tārixdin buyan qarār bergän 'ahd ū paymān äylāp toxtatgan (12) işni bozmağni anglap kelsün. Qalğan til-sözni bayān bilā inanmaq keräk.

(Seal impression, illegible)

## 【注釈】

(1) 全権を以て事を管理する参贊大臣に  
 (2) [申し伝える] 言葉は以下の通りである。賛美と加護は神のものである。至高の神の無限の恩寵  
 (3) により、我らの清榮と幸運は大軍勢とともに整序確立(4)され、日々に勅令発布者の地位にあって増大しつつある。今時、(5) 幸有る我が耳はかくの如くに聞き及んだ。即ち、[コーカンドと新疆の] 二つのユルトの間を往来し、(6) 二つの国の繁榮と安寧の原因となっている若干の商人、売買人(7)と弱小なる人民の、[その価格が] 若干のヤンブーであるアヘンを焼却し対価を与えず、(8) [彼らを] 嘆かして放逐したこと、かかる不正をなすことは、如何なる法令、国家統治[の規定に](9) 基づくのか。また若干のムスリムを拘禁しその首に枷を付けて、迫害侮辱は(10) 限度を超え、強盗行為と不適切な(?) 事態が発生した。この略奪の故に、(11) 我が高貴なる宮廷の随臣にして黄金の敷居の忠臣であるミルザー・イスマトウッラー・ムンシーを、(12) 第十一年以来この方確立され、協定して定められた事柄を[清の官憲が] 破壊したという事を知らしめて来いとて、派遣した。この余の事柄は[使節の] 弁明によりて知悉せよ。

(印影。解読不能。)

(6) māynmānči. māymāyči の変形。māymāy-は売買の音訳。

(11) on birinji tārix... 即ち道光11年のこと。この年以來確立されている協定とは、一年の違いはあるが、上述の道光12年の「和約」を指している。以來コーカンドは一貫してその遵守を清朝に求

めていることがこの26年の文書からも明らかである。

【解説】

この文書は、文書Vと同じく Xudāyar Xān の国書であるが、双方の印影は異なる。堀氏の抄写によれば、その漢訳の全文は以下の通りである。

浩罕伯克遞呈參贊大臣原稟内云、我所管的地方俱皆安靜。現在我聽聞哈什噶爾來往貿易的小回子們說、許多元寶的鴉片煙土均被燒燬、未給分文。又把我們的許多人管搜枷號。你們所幹的事被人枉腹發腸、那個禮上有呢。我差手下人毛拉額斯瑪吐拉往哈城。打聽此事情、即他當面還有話說。你們儘管放心。

堂々たる前書きが「我が支配する地域は皆安靜」の一言で片づけられているのは兎も角、「第十一年以来の協定」の部分は完全に訳し落とされている点が注目される。

IX 道光28年8月7日(7月4日) 吉明 8073-28

【転写】

(1) Ḥaḍrat-i Xwājam Pādišāhīmnīng amr-i šarif-i 'alilāridin  
 (2) Ishāq Beg bašlīgīn Ni'mat Āxūnd, Zuhūr-dūn Beg, Mir Qāšim Beg, 'Ināyat Beg, Ismā'il Mirāb, (3) Mullā Niyāz sāng begi Beg hamma Gulbāgdaki 'amaldār beglārgā sōz bu-kim ayslar wa'da qilip xaṭṭ ibārip meni (4) Buxārādīn alip keldinglār. Ḥalā men kelsām wa'dānglarga wafā qilmay Gulbāgqa qabalip alip čiqmağaninglar. Qaydaq (5) mening ayslarga köng-lümdā hič yamanliq yoq edi. Ḥalā jami'i 'ulamālar ayslarni murd wa kāfirliqgā fatwā berip (6) bala-barqanglarni yasirliqgā ḥukm qildilar. Ḥalā yenā axšām özünglār wa'dalarni qilip xaṭṭ čiqarip (7) ikān sizlār. Biz wa'dānglarni baqip tursaq yenā wafā qilmay mundağ işlarni qildinglar. Ḥalā ham bolsa (8) Ishāq Beg siz bašlīgīn öz wa'dānglarga wafā qilip bu yan čiqsanglar biz hammani köçürüp yurt (9) desānglār berā miz. Kūčā degān öz yurtungiz bolgandīn kin bala-barqangiz bar dur, xudā xwāh hammānglar bir yerdā (10) bolur sizlār. Ayslar özünglār wa'da qilmasanglar biz gü bu yerlār kelmās edük. Biz ayslar bilān (11) yurtgā ašinip kelip edük. Mabādā ayslar bu işinglārdin qaytmasanglar sarkardalar (12) bala-barqanglarni yasir [...] [qila] dur. Sizlār özünglār bozulup bu yan čiqsanglar ilgāriki-dāk (13) yurtni öz qolunglarga tafsurup berip biz Āqsū Kūčā İlāga taqap kitā miz. Biz yügürüp (14) šahrni algandīn kin özünglār xūb bolmas. Muslimān toğulup kāfir ölüšünglarni mu andiša (15) qilinglar. Bizdin ham muslimānčiliqgā indāmāk lāzim ikān. Har țari-qaliq mudda'ānglar bolsa uçurini čiqaringlar  
 (Seal impression, illegible)

【翻訳】

(1) ホージャム・パーディシャー殿下の高貴、崇高なる命令より。

(2) イスハーク・ベグを始め、ニーマト・アホンド、ズフルドゥーン・ベグ、ミール・カースィム・ベグ、イナーヤト・ベグ、イスマーイール・ミーラーブ、(3) ムッラー・ニヤーズ・サンベギ・ベグ、全てのグルバグに居る役人、ベグたちへの言葉は以下の通りである。[お前たち] 悪人どもは誓約し書簡を送って、私を(4) ブハラから連れて来た。今、私が来てみれば、お前たちの誓約を遵守せずグルバグに籠もって出てこない。(5) 我が心中には悪人どもに対し如何なる悪意もなかった。今や、全てのウラマーたちは、悪人どもが死人で不信者であるとの法判断を下し、お前たちの家族は奴隸身分であると宣告した。また、昨夜お前たちは誓約をして書簡を寄越し(6) た。我らがお前たちの誓約を信じると、お前たちはまたもや守らず、かかることをしでかした。今、そうではあっても(7) イスハーク・ベグ、お前を始め自身の誓約を遵守して、お前たちがこちら側に出てくるならば、我らは皆を赦し、お前たちがユルトを[望む]と(8) 言うならば、与えよう。クチャという[ところ]がお前自身のユルトとなった後に、お前には家族が有るが、神が望み給うなら、お前たちは皆ひとところに(9) 居れるようになる。お前たち悪人どもが誓約しなければ、我らもこの土地に来ることはなかった。我らは悪人どもと[合意して?](10) [この]ユルトに移り来たのである。あろうことか、お前たち悪人どもがその行いを改めぬなら、[我が軍勢の]首領たちは(11) お前たちの家族を奴隸とするであろう。お前たちが心変わりしてこちら側に出てくるならば、我らは旧の如くに(13) ユルトをお前たちに委ね、アクス、クチャ、イリへと広がって行くであろう。我らが進んで(14) 城を取ってから後では、お前たち[の立場]は良くないぞ。ムスリムとして生まれ不信者として死ぬことをお前たちは心配(15) せよ。我らにはなお[お前たちを]イスラームへと誘うことが必須である。何であれ要求があるならば、返答を送れ。

(印影。解読不能)

### 【注釈】

(1) Xwājam Pādišāhim. 「我がホージャ、我が君主」という称号の使用は、Hidayat Allāh に始まる。ここでは Muḥammad Yūsuf Xwāja を指す。文書Ⅱ参照。

(2) Ishāq Beg. 乾隆の新疆征服に功績を立てた鄂對 Hudawī の孫。Fletcher 氏およびその説に従う Millward 氏は、Ishāq の父を Muḥammad Hudawī とするが [Fletcher 1978 b: 366]; [Millward 1998: 214], 『新疆図志』 卷 21 藩部 6 に見える系譜では、Hudawī の長子 'Uṭmān, その長子 Muḥammad Ḥasan, その子 Muḥammad Hudawī であり、Ishāq は 'Uṭmān の次子と記されている。Ishāq は Jahāngir の侵入を撃退してカシュガルを回復し、Jahāngir を捕らえて北京に送った功によって、郡王位を授けられたうえ、署理喀什噶爾幫辦大臣事務の職に付けられて、皇帝に直接奏摺を提出する権限を得た。しかし、1830年の Muḥammad Yūsuf の侵入の後、裏切りの嫌疑を掛けられたことは以下に見るとおりである。

(3) sāng begi. sāng もしくは shāng の語源は現在まで不明であるが、租税徴収を任とするベグの職名であることは明確。

Gulbāg. 「薔薇園」の意。新疆各地のオアシス都市に隣接して建設された清朝駐屯軍の要塞は、新城、満城と称されたが、現地語では Gulbāg と呼ばれた。少なくともカシュガル、ヤルカンド、ホタンで

この名称が用いられていたことが知られる。

### 【解説】

文書IXは、謎の多い文書である。先ず他の文書にはある付箋がない。表題に示したように、堀氏の覚え書きによれば、道光28年の吉明の奏摺に付されているが、この文書の漢訳として堀氏から頂戴した漢文文書は、その所蔵番号8073-26こそこの文書の番号8073-28と隣接していて、整理の段階で原文書とその漢訳であると見なされたことを窺い得るが、事實は道光28年のXudāyār Xānの国書の訳文であって、文書XIとは全く関わりがない。一方、おそらくは堀氏より先に第一檔案館で調査を行ったMillward氏は、正しくこの文書IXの漢訳にあたる文書を発見し英訳を行っている。Millward氏によれば、その文書の番号は「軍機処録副奏摺、民族事務1294」で、「進疆賊目送給伊薩克來字」と題されている [Millward 1998: 308, n. 50]。氏の調査より後になって檔案館では所蔵文書の編号の再編が行われたらしく、この文書の現在の番号は知り得ない。Millward氏は、その著書の執筆の時点では、この漢訳文書のオリジナルは発見されていないと言っているが、確かに別の所に紛れ込んでおり、それが堀氏によって発見されたということであろう。以下に述べるようにこの文書IXは本来、1831年当時カシュガルの参贊大臣であった扎隆阿 (Jalungga) もしくはアクス領隊大臣の楊芳の奏摺に付されていたものであろう。漢訳の原文を見ることが出来ないので、Millward氏の訳を引用する。(文書の冒頭部分は a letter surfaced reputedly written by head of the invading army, claiming that Ishāq and other begs of Kashghar had invited the Khojas to return from Bukhara と著者の叙述の文章中に要約されている。)

Now I've come, but you haven't kept your word and instead remain in hiding in the Chinese city (*Hancheng*) and haven't come out to greet me. What does this mean? We don't want your land. The big and small ākhūnds say now you're following the Chinese (*zhongyuan ren*). According to the Qurān it would be proper for your children to be enslaved. Last night you said several things and had them conveyed to me. Just as you asked, I have waited until today, but again you have not kept your promise. Ishāq, as a leader you should be true to your word. If you come out, Kucha will be your home. I'll call all your young ones together to be united with you. If you say you have not invited us to come, then what have we come for? I have only come because you and this place allowed it. If by chance what you said does not come to pass, my followers will have your children as slaves. If you come out of the city now, I'll give you your old lands back. We'll go to Aksu, Kucha Yili! [But] if we take the Chinese city [i. e., by siege, without Ishāq's assistance], that will be of no benefit to you. You were born a Muslim - why do you insist on being a Chinese (*zhongyuan ren*)? I tell you this according to the rules of Islam. If you have a letter in response, send it out to me. [Millward 1998: 215]

これは、書簡の差出人が単に賊目にさかれていて、Muḥammad Yūsufの名に言及していないことを除き概ね精確な訳であり、原文のkāfirが「中原人」と訳されている点は興味深い。Muḥammad

Yūsuf の侵入とその後の Ishāq に対して通敵の嫌疑が掛けられた事件の経緯については、Millward, Newby 両氏が既に詳細に明らかにしている [Millward 1998: 213-223; Newby 2005: 153-167]。1830 年の春の初めから、カシュガルではコーカンドが侵入を準備しており、Ishāq がその手引きをしているとの噂が流れ始めた。参贊大臣扎隆阿が対応を怠っているうちに、ming-baši Haqq Quli が率いるコーカンド軍とキルギズ部族は Muḥammad Yūsuf とともにカシュガルへの侵入を開始し、9 月 29 日の夜には、カシュガル回城を攻陥した。同じ夜満城では、Ishāq の通敵の噂に激昂した内地の商人数百名が、Ishāq の衙門を襲撃、放火して 17 人のベグを含む 200 人以上のカシュガル人を殺害した。コーカンド軍は満城を攻めきれず、ブハラに背後を脅かされる事態が発生し、アクスから前進する清軍を前にして、12 月の末にはカシュガルから撤退した。その直後、扎隆阿はアクスの楊芳に Ishāq とその家族を通敵の容疑で監禁したことを知らせ、一件は北京に報告された。以上の経緯からすれば、この文書Ⅸは、Ishāq の裏切りの証拠として、扎隆阿から楊芳を経由して軍機処に送られた可能性が高い。扎隆阿はコーカンドの侵入を許した責任を追及される立場にあり、咎を Ishāq に転嫁しようとしていたと考えられるから、そもそもこの文書の真偽自体を一応は疑う必要があるかも知れない。偽造でないとするれば、次には文書の内容が事実であるか否かを吟味する必要がある。Newby 氏の指摘の通り、コーカンド侵入以前に流れた Ishāq の内応の噂がコーカンド側の情報操作であったとするならば、この文書もそうした謀略の一環として、満城に籠もっている守備隊と現地のベグたちを疑心暗鬼に陥れる目的のもとで作成された可能性が考えられる。この場合には、Ishāq がブハラにいる Muḥammad Yūsuf にカシュガルに来るように慫慂する書簡を送ったという文書の記述は、虚偽である可能性が高いとしなければならない。もしこの記述が真実であるとするならば、そうした行動を採った Ishāq の意図は奈辺にあったのかが問題になろう。彼は、一旦は逃れ去った Jahāngir を、清軍がカシュガルから撤退したという偽情報を流して誘き寄せ、捕縛した経験を有していた。それに鑑みて二匹目の泥鰌を狙って、彼の方から Muḥammad Yūsuf に対して謀略を仕掛けたのであろうか。いずれにせよ、朝廷は Ishāq の忠誠を疑わず、一方扎隆阿は死刑を宣告されたが、執行を待たずに獄死した。

ところで、これらの文書は如何なる手順で漢訳されたのであろうか。翻訳に当たった者への言及としては、文書Ⅱの漢訳に「アホンらの訳出に拠る」とあるのが唯一の例外で、それ以外の漢訳にはこうした文言はない。「通辞」という漢語は、そのまま tūngji として現地語にも借用されたことは知られているが、これら現地出身の「通辞」の任務は、現地語の史料から知られる限りでは支配者の命令を被支配者に伝達することによって、文書の翻訳業務に携わっていたという情報はない。そもそも、新疆統治における、支配者と被支配者間の言語的意思疎通の問題は、現在まで殆ど等閑に付されてきたが、これに関連して、ここで紹介した原文書とその漢訳の対比は、若干の憶測を許すように思われる。最も顕著な原文書と漢訳の差異は、前者が勅書もしくはこれに準ずる格調を有する場合でも、後者はこの格調を無視し極めて平易な漢語に訳しているという点に見出される。これは、「藩属」に大言壮語を許

さぬ「天朝」の矜持の現れと解されるべきであろうか。或いは翻訳能力の問題であろうか。いずれにせよ、文書Vの如き文章を直接理解できる者が、参贊大臣の幕僚の内に居た可能性は殆どなく、現地の知識人による、文書の内容を平易な現地語に言い換えた「解説」が不可欠であったと思われる。もしそうであるならば、漢訳（あるいは漢訳の前段階として満州語訳された可能性も検討する必要がある）されたのは、原文書ではなくこの「解説」であったと想像することも強ち不可能ではない。文書VIの漢訳に「qādi beg がその地に駐在して、チベット往来の貿易人の貨税を徴収する」という原文書にはない一文が付加されていることは、コーカンドからの使節自らがこうした「解説」を行っていた可能性をも示唆する。

一方、文書Vの「ハック・クリ以来定められた和約と条約」文書VIIIの「第十一年以来この方確立され、協定して定められた事柄」が、漢文に訳出されていないのは、どのレベルで為されたことかは不明であるが、明らかに清朝の官憲による作為である。彼らは、「条約」の存在を否認するどころか、コーカンド側による「条約」に対する言及自体を隠蔽したのである。清朝皇帝がこれらの原文書を「御覧」になっても、この隠蔽が露見する恐れはもとより皆無であった。清朝の中央政府には自らがコーカンドと「条約」を締結したという認識は全くなかったとしても、コーカンドからすれば、Fletcher 氏のいう「中国最初の不平等条約」<sup>4)</sup> は厳として存在しており、時には軍事力の発動をも伴う新疆への介入は、全く合法的なものであった。「19世紀にまでも生育し続けた、古い思考と外交の伝統の力」[Newby 2005: 248] と見えたものの実態は、この両国間の認識の齟齬を覆い隠すための無花果の葉であったと解することも出来る。いずれにせよ Fairbank 氏が言うところの「朝貢体制の黄昏」の時刻は、中央アジアでは既に過ぎ去っていたのである。

## 参考文献

- Doerfer: Gerhard Doerfer, *Türkische und Mongolische Elemente im Neupersischen*, 4 Bänder, Wiesbaden, 1963–1975.
- 五体: 田村実造・今西春秋・佐藤長共編『五体清文鑑訳解』2巻, 京都大学文学部 内陸アジア研究所, 1966.
- Ma'rufov: Z. M. ma'rufov, *O'zbek tilining izohli lughati*, 2 tom, Moskva, 1981.
- 王公表伝: 欽定外藩蒙古回部王公表傳.
- 新疆圖志: 袁大化修 重校訂新疆圖志, 天津博愛印刷局, 1923.
- Fletcher, Joseph (1978 a) Ch'ing Inner Asia c. 1800. In: John King Fairbank, (ed.), *The Cambridge History of China*, vol. 10, *Late Ch'ing 1800–1911, part I*, Cambridge University

4) 但し、Fletcher は条約締結を 1835 年の交渉によるとするが [Fletcher 1978 b: 375 ff.], コーカンド側は、上に見た通り 1832 年の時点で条約が結ばれたと理解していた。

- Press, 35 – 106.
- Fletcher, Joseph (1978 b) The Heyday of the Ch'ing Order in Mongolia, Singkiang and Tibet.  
In: John King Fairbank (ed.), *The Cambridge History of China, vol. 10, Late Ch'ing 1800-1911, part 1*, Cambridge University Press, 351 – 408.
- Hamada, Masami (1992) Rupture ou continuité : le carendrier des douze animaux chez le musulmans turcophones du Turkestan oriental, *Mélanges offerts à Louis Bazin*, L'Harmattan, Paris, 285 – 291.
- 濱田正美 (1993) 「塩の義務」と「聖戦」との間で『東洋史研究』52, 122 – 148
- 濱田正美 (1998) モグール・ウルスから新疆へ —— 東トルキスタンと清王朝 —— 『岩波講座世界歴史 13 東アジア・東南アジア伝統社会の形成 (16 – 18 世紀)』岩波書店.
- 濱田正美 (2006) 『東トルキスタン・チャガタイ語聖者伝の研究』京都大学大学院文学研究科.
- Millward, James A. (1998) *Beyond the Pass, Economy, Ethnicity, and Empire in Qing Central Asia, 1759-1864*, Stanford University Press.
- Newby, L. J. (2005) *The Empire and the Khanate, A Political History of Qing Relations with Khoqand c. 1760-1860*, Brill.
- 佐口 透 (1963) 『18 – 19 世紀東トルキスタン社会史研究』吉川弘館.
- 潘 志平 (1991) 『中亞浩罕国与清代新疆』社会科学院.
- 藩志平・蔣莉莉 (1988) 1832 年清與浩罕和議考『内陸アジア言語の研究』IV.

(京都大学大学院文学研究科)

انجی وثیقه

(۱) حضرت سام ساق خواجم سلّمه الله تعالى غه جو شبنم از رخ کل ...  
 (۲) کاشغر نینک حاکم بیک جون وانک اسکندر بیک دین دعوات محبانه و تسلیمات مشتاقانه اداسیدین مفهوم اولکه لله الحمد و المنة بیزلار بعنایت پرور و کار عالم صحت سلامت (۳) مقرون بخیر عافیت دور میز حضرت لارینی هم جمیعی تعلقات لاری برله الله تعالی سلامت ساقلاب یقین فرصت ده دیدارلاری نعمتیغه مشرف بولماقنی نصیب قلغای انشا الله (۴) ثانیاً ذهن مصفا لاریغه معروض اولکم حضرت لاری نینک ایبارکان خاص خدمتکار لاری محمد نیاز آخند لار کاشغر غه یتیب کلیب حضرت لاری نینک کلیش لاری نی (۵) اولوغ خانغه معلوم قلیب خط توتوب بیز الیخا آمبان خبه امبانلار بیلان مصلحت لاشیب بو ایش نینک یاروقیدا قوقند بیله کلیش لارینی مصلحت قیلغالی نربوته بیک قاشیغه محمود بیک نی ایباریشمیز ده (۶) تولی باینی بیله قشوب ایباریب همه سوز اغز نی جناب لاریغه معلوم قلیب عریضه داشت توتوب ایدوک سمع شریف لاریکا مسموع بولغاندو محمد نیاز آخوند لار مو (۷) اولوغ خاندین کلا دورغان یارلیغ نی ساقلاب تورودی یارلیغ یتیب کلیشی که مو اون نجه کون قالدی یارلیغ یتیب کلکاندین کین محمد نیاز آخوند لارنی علی یار بیک بیلان خدمت لاریکا ایبارا میز ینه بیک لار دین (۸) اط اولاغ همه لازم آمده لیک نرسه کرک نی جابدوب قوقند غه استقبال لاریغه ایبارامیز و ینه محمد نیاز آخوند بیز که ایتقاندا شهر سبز داکی صیدیق بیک نی مو خواجم بیله الیب کلا دورلار دیدی شهر سبز که هم (۹) کیشی ایباریب صدیق بیک نی آلدوروب کلیب طیّار بولوب تورسالار محمد نیاز آخوند علی یار بیک لاری یتیب بارغاندین کین حضرت لاری هم درمحل اغاجام لارنی خواجم لارنی عظیم لارنی ایرشیب (۱۰) کلا دورغان همه خدمتکار لارنی الیب جقیب کلسه لار بیز باشلیق بیک لار کاشغر خلقی همه مرید محلص لار جمال جهان ارا لاریغه مشرف بولماق نینک آرزوسیده طلب لارینی قلیب منتظر تورویدور مز انشا الله (۱۱) ینه الیخا آمبان خبه امبانلار بیلان مصلحت قیلغانیمز سکرنجی جمادی الاول آی نینک اون اوجیده (۱۲) اولوغ خان نینک توغولغان اولوغ مبارک کونی بولا دور اولوغ خانغه تابع همه اطراف داکی وانک کونک بیللی بیضه اولوغ لار جمع بولا دور شول کونده حضرت لاری نینک پای قدم لاری کاشغر غه یتیب کلدیلار دیکان خط (۱۳) اولوغ خانغه یتیب بارسا قرق بیل نینک بو یوزی تلادا یورکان سامساق خواجه منکا باش توتوب کلیب دور دیب همه اولوغ لارغه جارلاب انکلاتیب بو خوشوقت لیق دا حضرت لاریکا آسماندین (۱۴) ایکیز یردین قالین التفاتی تخی مو زیاده بولا دور الیخا امبان خبه امبانلار بیز سامساق خواجه لیق نی (۱۵) اولوغ خان نینک مونداغ اولوغ مبارک کونیکه



اولکوروب يتيب كلسه لار ديب سعی قيلغانيمز نينك اوجورى ( ۱۶ ) اولوغ خان خوشوقت بولغان سارى خوشوقت بولوب زياده التفات لار قيليب بيز نينك وقتيمزدا بو اويدان ايش لار تخی مو اويدان بولوب سامساق خواجه ليق قنجه عزت آبروى لوق بولسه لار ( ۱۷ ) بيز هم تولادین تولا خوشوقت بولاميز بيزنينك بو مهربانجيليق قيلغان اويدان کونکلوميز نی سامساق خواجه ليق غه خط برسانکيز آنکلاب خوشوقت بولوب جابدوب طيار بولوب تورسالار ( ۱۸ ) محمد نیاز آخوند على يار بيك لار يتيب باريشی همان حيال بولماى در محل آطلانيب جقيب كلسه لار زياده اويدانليق بولادور دیدى مونيک اوجون سمع شريف لاريکا معلوم قيليب ( ۱۹ ) محمد آخوند قوليدین عريضه داشت ... م

( ۲۰ ) اولوغ خان نينك اوجونجي ييلى ... عيد قربان آي نينك اون تورتي کونی

[مهر] کاشغر حکم بيک نينک مهر (؟)

### ۲نجى وثيقه

[ ۱ ] حضرت ... سلمه الله تعالى [ ۲ ] حضرت محمد يوسف خو ...

( ۱ ) ذکر نسبت ... ( ۲ ) صوری حضرت ... ( ۳ ) قبله عارفان کعبه [آ] ( ۴ ) شقان نور الله خواجهکان حضرت سيد برهان الدين ابن ( ۵ ) حضرت خواجه احمد ابن حضرت خواجه يحيى خواجه ابن حضرت ( ۶ ) خواجه هدايت الله خوجم ابن حضرت خواجه محمد يوسف ( ۷ ) خواجه ابن حضرت خواجه محمد يمین خواجه ابن حضرت ( ۸ ) مخدوم اعظيم مهدى الاخر الزمان خواجه سيد قيلج برهان ( ۹ ) الدين خواجه حضرت سيد خواجه جهان کير خواجه حضرت ( ۱۰ ) سيد خواجه بهأوالدين خواجه حضرت سيد خواجه احمد خواجه ( ۱۱ ) ذکرى نسبت شجریه التفاتميزنى کوروب کاشگرد ( ۱۲ ) قى اولوغ اوشاق هممه مرید مخلص لاريمز بيرلارکا ( ۱۳ ) خدمت برجا کلتورسيلاز بيز لار دعای ( ۱۴ ) خير قيلورميز مخفى قالمغايلاز انشا الله تعالى [ ۳ ] ملا سوفى نی ابردو [ ۴ ] ك برجا

[مهر؛ لا يقرأ]

### ۳نجى وثيقه

( ۱ ) ايش باشقارکان خبه انبانلارکا سوز شولکيم الحمد لله والمنة تنکرى و تعالى ( ۲ ) کرم بلا نهايه سى برله ذات خجسته صفات ميز سليم الاعضاليك جاره سيده ( ۳ ) برقرار بولوب نرخ ارزان و

رعایا آسایش مهادیدا دعای دولتغه مشغول بولوب آمین دیغایلار ( ۴ ) بو شکرانه بیله قلم و اطرافی  
 حرستی بیزکا لازم اوچون سرفول بانکا فقراو بادیه نشین باسیانلیق اوچون ( ۵ ) نچه عدد کیشی  
 ایلغار قویوب ایدوک اول فقرالریمز ایچیدین قلچاق دیکان بطل نابکار نچه اویسه ( ۹ ) و ( ۶ )  
 ناشایست ایشنی پیشه ایلاب ایکی مملکت نی فش قیلماق اوچون قویکان ایلغاریمزدین ایکی یوز  
 ( ۷ ) آت اوغورلاب آلیب دور انینک ارقاسیدین آت و ایلغی نی ایستاب بارکان خدمتکار ( ۸ )  
 لرمیزنی قرق ایلک کیشی نی مکر و فریب برله توتوب اولتوردی دیب انیق مبارک سمع بیزکا تیکان  
 ( ۹ ) زمان خدمتکار دربار فلکمدار بیک لار بیکی نی امر قیلدق خدمتکار مذکور فرمان عالیمیز بیله  
 ایش توتوب ( ۱۰ ) اول اوغرینی سیاست مرتبه سیکا یتکورب و ینه هر یاندغی بی ادب نی عبرت  
 آلماغی اوچون قراول ( ۱۱ ) دین تاشقار یانیب کیلدی و ایمدی قلچاق نی قریندش و اورغی بولسه  
 اوز جایغه چقیب اولتورسون ( ۱۲ ) کناهیدن اوتوک و آسایش خلق الله و تجار و چروک مقصد و  
 مدعا بولسه خدمتکار لارکا امر ( ۱۳ ) بولور کیم قراولدین ایچکار کا دخل و تعرض یتکوزمسون و  
 قراولدین تاشقاری بولسه او یاندکی ( ۱۴ ) خلق اندیشه قیلماق نهایت لازم و الزم دور و باچین خانی  
 برله بیزنینک ارامیزدا آشنالیق ( ۱۵ ) برقرار و استوار دور هیچ تشویش و غباری خاطر یوق تور و بو  
 اورتادا امانی و آسایش فقرا ( ۱۶ ) و اشاق خلق منظور دور و ینه سیلار جواب تلاب خط یازیب  
 یبارکان مضمون اوچون جواب ( ۱۷ ) یازیب یباردوک قالغان تیل سوزنی خط کتوراب بارکان اقسقال  
 ایتسه انان ماق کراک ۱۲۵۳

[مهر؛ لا یقرا]

۴نجی وثیقه

( ۱ ) هو الحی

( ۲ ) یورت توتوب جمیع فقرا لارنی آسایش بیله ( ۳ ) ایش توتادورغان خیه امبان لارغه ( ۴ ) انداغ  
 معلوم و مشهور بولغای کیم لله الحمد والمنه اولیا لشکر قاهره ء نصرت ( ۵ ) آیین بمحض امداد  
 حضرت رب العالمین و اعانت شرع مبین تیغ ( ۶ ) سیاست جیکوب قهرمان ملت آشکارا ایتوب  
 سلح ربیع الاول ( ۷ ) آبی برس ییلی چهارشنبه کونی ممالک قوقندغه نزول اجلال ارزان لیق ( ۸ )  
 ایلادوک و بو کیبی فتح و نصرت نینک اعلام و اخباری اوجون معتد ( ۹ ) درکاه عالم پناه میز ابراهم  
 بیک میر اخور و پاچا خواجه نیک اول جانبغه ( ۱۰ ) اوسال قیلدوک قالغان تیل سوزینی صدق و  
 راست بیلماق کیرک ۱۲۵۸

## ۵نجی وثیقه

[ ۱ ] قبله کاهیم [ ۲ ] نور مرقدہ

( ۱ ) عصر تکیش لبق خیریت اندیش لبق کاشغر یورتی نینک توسقانی انبان ( ۲ ) ظهور الدین بیک تاجی فرمان جهان آرای عالی میزدین امیدوار ( ۳ ) و سرافزار بولوب انکلاسونکیم اصدار حکم جهانمطاع واجب الاتباع علیحضرت قدسی بیلیب اوردوی منزلت ( ۴ ) ظل اللہی له تمامی خبور غیر معدود و دار الخلافه خوقند نی رکاب نصرت مناب عالی میزغه سالیب عنان ظفر نشانمیزنی ( ۵ ) فرقه عدو فتنه جو ساری مصروف ایتیپ نجه منزل مراحل کیزیب سغد لار اوره سیغه باریب صفا راستلیق مسلوب ( ۶ ) اوروش و سواش محاربه و برخاش یری غه یتی کیم کونی دم تیغ سد ریغ دین اوتوب اسیر و دستکیر بولوب ... السیف ( ۷ ) امان تیلاب ربقه اطاعت و قلیجولوق غه کیریب اسلحه و یاراق آت و انجام لایعد و لایصحی محمول مبارزلاری ( ۸ ) رزم آزما بولوب مواجعت قیلور چاغده سامعه فرسا بولدیکم بر نجه جرمزاده ارباب خناس ( ۹ ) و پی رولاری یوسوس فی صدور الناس توزناشناس عالم خان اوغلی مراد خان نینک شهرنی آدم سیز ( ۱۰ ) تاپیب کیرکوزوب تخت غه اوتقوزوب حضرت ظل اللہی نی شهید قیلوب دورلار آتینک اوچون انا بعد و انا الیه راجعون و ... ( ۱۱ ) توقف دورنک ایتمای غضب لنوب سمند خوشحرام جهان پیماغه راکب بولوب قوشینی طیار خنجر کذارنی ( ۱۲ ) جیلوغه سالیب برق آسا آز ایام ده یتیپ کیلیب بر جمله ده دار الخلافه خوقرد نیک زیر و زبر مفتوح ( ۱۳ ) و مسخر ایتیپ مذوک بولغان مراد خان نینک اول نمک حرام لارله باش کیسیب آلتون تخت موروثی ( ۱۴ ) استوار و برقرار بولدوم بیز خلقنی علوی حق قلی دین سونک مقرر بولغان سلح [ صلح ] و معاهده کیم عبارت ( ۱۵ ) تورت مدعادندور مقیم دیب تعزیت و تهنیت اعلامی غه خیر خواه خال محمد دادخواه و عیسی میراخورنی بویوردوم ۱۲۶۰

[ مهر ] سید خدایار بی بن شیر علی خان محمد پیغمبر ( ؟ )

## ۶نجی وثیقه

( ۱ ) سکیز شهرنی یوسون لای دورغان خبه انبان  
 ( ۲ ) امارت پناه لبق ایالت دستکاه لبق خیریت کش عاقبت اندیش رفعت و منزلت قرین عزت و حکومت آیین مودت و مرود آکاه نینک ( ۳ ) شگری تعالی سحت و سلامت جاده سیده برقرار توتغای

سونکره سوز شولکیم یبارغان ایلجی لارینکیز اشرف اوقات و اسعد ( ۴ ) ساعات دا اسن لیک خطنی آلیب کیلیب یتکوزدی و سیزلارنینک ایسن لیک لارنکنی و یورت تنج لیغی و مسلمان لارنینک ( ۵ ) آسایش و آرامش لارین اشتیب خرسند و خوشوقت بولدوق و اول خط دا یازیلغان ایکان بعضی آغاچه لارنینک خطای ( ۶ ) آلیب ایکان آلاردین اجراتیب و آغان خطای لارنی و الارغه یتکان اغاچه لارنی شدت لیک عذاب قیلدیم ( ۷ ) و من بول یورت دا آغاچه غه خطای قولینی یتمایدورغان قیلیب تنبیه و تعزیر بلیغ برور من دیب دیلیب ایکان منکا هم کوب ( ۸ ) خرسند بولدوق چراکیم دین آیین رسومیده و خطای نی یوسونیده مونداق ایش لار یوقدور و هر کز مونداق ( ۹ ) یش لار یورت دار لیک یولیدین بولماسا کیراک و ینه اول تحریر ایتلیب ایکان کیم قراول نینک ایجیده کی ( ۱۰ ) کشمیر لیک بدخشنی لیک و قیرغیز و قبحاق زکاتی و ینه قراول نینک ایجیده کی مسافر لار نینک ترغان یرلارینی ( ۱۱ ) عشری خانیه غه تابع و سیزلارغه تابع ایماس دیب دور حالانکه کوب خلق لار بیلا دور کیم قدیمدین خاقان نی ( ۱۲ ) بویروشی برلان بو ذکر تابیلغان ایش لار کلاً بیزغه تابع و اوزکا کیشی ایشی یوقدور حالاهم سیزلار ( ۱۳ ) خوب سعی و کوشیش قیلینک لار کیم ایش شول یرغه قرار بولسون و نزاع غه عاید بولماسون مبادا کیم ( ۱۴ ) طرف و جیانب داکی خدمتکارلار بو ایشنی بولوشی اوجون اطراف دین تلاش قیلسه لار بو اراده بر مناقشه ( ۱۵ ) پیدا بولوب خاقان قولایغیغه یتسه یخشی بولماس دور بو خط یتیب و یورب تنج لیغی نی کوزلاب یخشی جواب برینک لار موندین ارتق هر قانجه ( ۱۶ ) تیل سوزینی اعتماد آگاه آقسقال دادخواه غه ایتدوک بیزنینک جانبی میزدین هر نمرسه دیسه قبول قیلینک و آقسقال ( ۱۷ ) سیزلار دین ایشتیکان سوزینی بیزلارغه عرض قیلور و ینه تبوت یولینی زکاتی اوجون سرقیه غه محمد امین قراول بیکی نی قویدوک ( ۱۸ ) جمادی الاول آینی اون تورتونجی سی اسعد ساعات دا شنبه کونی رقم بولندی واضح بولغای ۱۲۶۲

۷نجی وثیقه

( ۱ ) اقسقال دادخواه پاجام دین

( ۲ ) قزیل تاغدین توخته قل و قاضی قلم بی آق بغیش کاه محمد یوسف بی دانیار بی لارکه دعای سلام دیکاج سوز بو کیم ( ۳ ) مینک باشی قوش بیکی نینک حکم لاری شولکه حالی انکلاسام سیز که تعلق سزنی فقارلارنکیزدین بر نجه ( ۴ ) فیرغیزلار خطای دین جونک صی آلیب کیکان ایمیش ( ۵ ) سیز باریب جونک صی کیکانلار نی تحقیق قیلینک هر قی ( ۶ ) سی کیدین جونک صی آلکان بولسه قولیغه تافشوروب برسون اکر قولیغه تافشوروب برالماسه جونک ( ۷ ) صی لارینی الیب کلیم

سيزكه تافشورسون سيز بركه ايبارينك يوق اكر بو سوزلار معقول بولماسه (۸) جونك صى كيكن لار مونده كليپ بزنى دعا قيليب يانسون اكر يوق ديسه شو سببدين كشى بارسه (۹) جافسه بزدين و سيزدين كينه توتماسون ديب حكيم التفات قيلدیلار بزدين اشتورماق سيزلار (۱۰) دين انكلاماق ديب بركان خط بدخشی نی اشیغه هم آبدان كونكل قويسانكلار بولادور [امضا]

#### ۸نجی وثیقه

(۱) اوز رسمی بیرلان ایش باشقاركان خبه انبانلارغه  
 (۲) سوز بولكم الحمد لله والمنة تنكری تعالی كرم بلا نهايه (۳) سيدین کیفیت احوالات و كامران لیغمز نورغن چريك بيله مستعد و بر قرار (۴) بولوب كوندين كونكا فرمانفرمای لیغ مرتبه سیدا مضاعف دور بو هنكام ده (۵) مبارك فلاغمیزكا جنان سامعه افروز بولديكیم ایکی یورتنی اراسیدا یوركان (۶) و ایکی شهرنی آباد و تنج لیغغه سبب و باعث بولكان نچه طایفه تجار و مینمنچی (۷) و اشاق خلق نی نچه عدد یامبوليك افیونی نی اوتكا كیدورب پل نی بیرمای (۸) زار بیغلاتیب بیوطن ایلاماق بو طریقه تعدی قیلماق قیسی رسم یورت تتماق ده (۹) مناسب دور و ینه بر نچه مسلمانی سولب و بوینغه تخته اورب اذا و اهانت (۱۰) حدین تاشقاری یتکوزب اوسه و ناشایم ایشلار واقع بولوبدور بو تخریب دین (۱۱) نمکخار دربار عالیمز و آلتون بوساغه نی مستقمی مرزا اعصمت الله منشی نی یوباردیکم (۱۲) اون بیرینجی تاریخ دین بو یان قرار بیركان عهد و پیمان ایلاب توختاكان (۱۳) ایشنی بوزماغنی انكلاب کیلسون قالغان تیلسونی بیان بيله انانماق كرك

#### ۹نجی وثیقه

(۱) حضرت خواجه پادشاهم نینك امر شریف عالیلاردین  
 (۲) اسحاق بیك باشلغین نعمت آخوند ظهور دون بیك میر قاسیم بیك اسماعیل مرآب (۳) ملا نیاز سانك بیکی بیك همه کلباغداکی عملدار بیكلارکه سوز بو کم ایسلار وعده قیلیب خط ایباریب منی (۴) بخارادین الیب کلدینكلار حلی من کلسام وعدانكلارکه وفا قیلمای کلباغقه قبالیب الیب چقماغانینكلار قایداغ (۵) منینك ایسلارکه كونكلوم دا هیج یمانلقیم یوق ایدی حلی جمعی علمالار ایسلارنی مُرد و کافرلیق غه فتوی بریب (۶) بلابرقانكلارنی یسیرلیق غه حکم

قیلیدیلاز حلی ینه اخشام اوزونکلار نجه وعده لار قیلیب خط چیقاریب (۷) ایکان سیزلار بیز وعدانکلار که باقیب تورساق ینه وفا قیلماي مونداغ ایشلارنی قیلدینکلار حلی هم بولسه (۸) اسحاق بیك سیز باشلغین اوز وعدانکلار که وفا قیلیب بویان چقسانکلار بیز همه نی کوجوروب یورت (۹) دیسانکلار بره میز کوجا دیکان اوز یورتونکیز بولغاندین کین بلا باقانکیز بار دور خدا خواه همآنکلار بر یرده (۱۰) بولورسیزلار ایسلار اوزونکلار وعده قیلماسانکلار بیز کو بو یرلار کلماس ایدوک بیز ایسلار بیلان (۱۱) یورتغه ایشنیب کلیب ایدوک مبادا ایسلار بو ایشنکلاردین قایتماسانکلار سرکرده لار (۱۲) بلا باقانکلارنی یسیر . . . قیلا دور سیزلار اوزونکلار بوزولوب بویان چقسانکلار ایلکرکیدین (۱۳) یورتنی اوز قولونکلارغه تافشوروب بریب بیز آفسو کوجا ایلاغه تقاب کتا میز بیز یوکوروب (۱۴) شهرنی آغاندین کین اوزونکلار خوب بولماس مسلمان توغولوب کافر اولوشونکلارنی مو اندیشه (۱۵) قیلنکلار بیزدین هم مسلمانچیلیق غه ایندامک لازیم ایکان هم طریقه لبق مدعانکلار بولسه اوجورینی چقانکلار

[مهر؛ لا یقرا]